

お誕生

住所	氏名	性別	保護者
仁田子	佐藤 輔	男	総司 晃大
仁田子	川辺 琉	男	敏敬 一
芝原	吉田 叶	女	敬 一
府領	上村 琉	男	誠 一
下横田	川口 時	男	信 良
岩下	甲斐 莉	女	良 昌
下横田	村上 優	女	昌 二

ご結婚

住所	氏名
下横田	和田 拓也
八代市	吉田 亜梨沙

【夫妻】

おくやみ

住所	氏名	年齢	世帯主
南三箇	中村 次徳	79	榮
津志田	一口 佳代	26	訓 男
白旗	渡邊 親一	92	勇 一
上早川	佐藤 セツ	93	七 ツ
糸田	緒方 定	83	良 一
吉田	竹田 義行	86	ツユコ

〔町史編さんだより〕

地球の歴史が洪積世(こうせきせい)から沖積世(ちゅうせきせい)に変わるころ、人間の文化は旧石器時代から縄文時代へと変わります。

この時代を縄文と呼ぶのは、当時生活で使用した土器が「縄文式土器」という縄目の付いた土器が使われていたからです。前代の旧石器時代にはまだ土器は使っていませんでした。今からおよそ1万5千年前に最初の土器が作られました。それから約1万4千年間、縄文時代が続き弥生時代に変わっていきました。

縄文時代の生活は未だ鉄を用いず、全ての道具は石、骨、そして木などで作られていました。生活の仕方は、弓矢や槍による狩猟、釣針・網を使用した漁労、木の実や植物の根を加工する収集・採集が

行われていました。

日本列島は複雑な海岸地形を持ち、多くの魚類が見られ、遠浅の海では豊富な貝類が採集されました。長い縄文時代には、気候は寒いときと暖かいときがあり、最も暖かい6千年前には今より3度も高く、南国や平地でしか見られ

乙女台地で発掘された世持石佛遺跡(縄文時代)



甲佐の歴史を紡いで

～町史編さんだより(16)～

縄文時代の生活

町史編集委員 島津 義昭 (原始)

ない樹木(照葉樹林)や植物が北の地方や高い山まで見られました。

縄文人の主食はドングリ類を焼いたパンで、その中に動物の肉・貝を混ぜた今日の「ミックス・ピザ」のようなものでした。縄文時代の半ば以降には塩の生産も始まったよう

です。

熊本平野は、縄文時代には全体が海で嘉島町の西側辺りまで海が侵入していました。甲佐町も、吉田・芝原の低い土地は海であつたかも知れませんが、城南町の阿高、嘉島町の下六嘉に縄文人が食べた後の魚貝を捨てた跡(貝塚)が見られます。

甲佐町では、各地に縄文人の生活の跡が知られています。が、旧石器の遺跡でもよく知られている大峰で、8千年前の縄文土器が発見されているほか、乙女台地上にも遺跡があります。石の矢じりの発見される場所もあります。

▼『甲佐町史』編さんに関するお問い合わせ先
町社会教育課町史編集係
☎096・234・3310

編集後記

話題でご紹介した乙女校区防犯パトロール隊は、本町で初めて結成された地域主体のパトロール隊。悲惨な事件・事故から、子どもたちを地域で守るために立ち上げられました。

同隊の活動が伝わり、地域の高齢者の間に同心円のように波及。散歩を登下校時に合わせて同行するなど、子どもたちとの触れ合いが毎日の日課となり生きがいとなって、地域全体での取り組みとして発展しています。現在は、当初の目的を達成したことから発展的に隊を解消。

隊員の皆さんは地域の活動に合流する形で、引き続き地域の子どもたちを見守っています。

代表の安達さんは「地域を大切にしたいと願って活動する大人たちの背中を見て育つことで、大人になったとき、地域を思う気持ちを受け継いでくれる」と未来に思いをはせます。(C)

DATA		
平成21年11月30日現在		
人口・世帯数	増減	
男	5,376	0
女	6,115	2
計	11,491	2
世帯数	4,140	0